

SNSを活用した児童生徒の心のケア事業の報告について ～臨時休校に係るLINEを活用した心のケア事業についての報告～

1 事業について

(1) 目的

臨時休校の影響による児童生徒のストレスや悩みの軽減、問題の深刻化を未然に防止することを目的として、自宅でも気軽に利用できるSNS(LINE)を活用した相談事業を実施する。

(2) 実施期間・・・令和2年(2020年)4月20日(月)～7月31日(金)

①LINEトークでの相談「トークで相談」・・・大学生または心理カウンセラーが相談を受ける

○令和2年(2020年)4月20日(月)～5月6日(水)
・・・平日すべて13:00～16:00の9日

○令和2年(2020年)5月7日(木)～7月31日(金)
・・・月・水・金 17:00～20:00の37日 合計46日

②利用者への公開相談「みんなに相談」・・・教育委員会で相談を受け付け、回答も教育委員会が公開する

○24時間登録受付 4月20日(月)～現在

※8月からの相談事業への継続のため

(3) 対象者 熊本市立の小・中学校、高等学校、特別支援学校 約62,000人

2 相談実績について

◇「トークで相談」

○710人の児童生徒が利用。延べ1,729件の相談あり。

○寄せられた相談にはすべてに対応。

【主な相談内容】

- ・行事や部活動などの学校生活の変化に対する不安
- ・学習や進学に関する不安
- ・いじめ等についての不安
- ・家庭環境に起因する不安
- ・臨時休校中や学校再開後の人間関係に関する不安

【大学生への相談に対する利用者の声】

- ・共感してくれたり、気軽に話しかけてくれたりして、相談しやすかった。
- ・優しく寄り添ってくれ、ゆっくり話を聞いてくれたところが良かった。
- ・自分のペースで話せて気持ちが軽くなった。

◇「みんなに相談」

○116件の相談(うち公開110件)があり、271件の回答あり。

↑8月13日現在(8月からの事業に継続のため)

<https://www.kokoro-mamoru.jp>

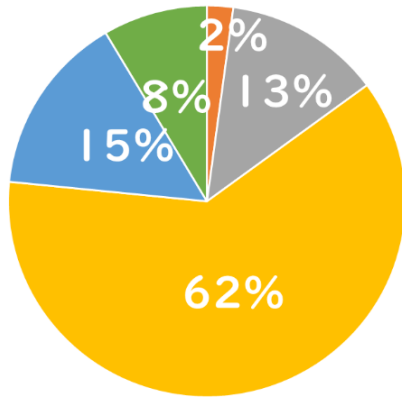


【主な利用者の声】

- ・いろいろな悩みを持つ人がいるのがわかった。
- ・違う歳の人たちの意見が聞けて、考えが広がった。
- ・悩んでいるのが自分だけじゃないと気づき、少し心が軽くなった。
- ・繋がることで私も頑張ろうと強く思った。
- ・自分が他の人の悩みに返信を書くことで『ありがとうございます』や『他にも同じことで悩んでいる人がいて心強いです』という言葉をもたらえてとても嬉しかった。

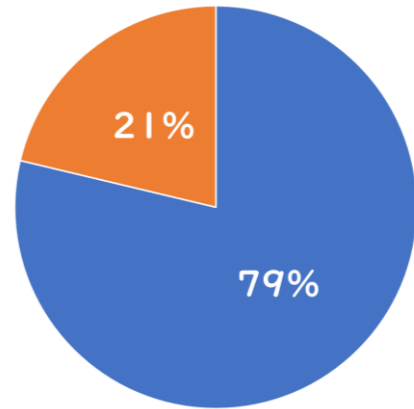
3 登録者へのアンケート結果から

学校種 n=47



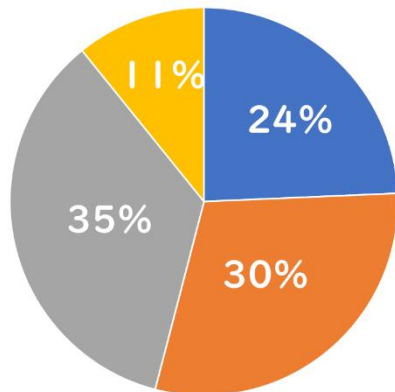
- 小学生 (1,2年)
- 小学生 (3,4年)
- 小学生 (5,6年)
- 中学生
- 高校生
- その他

利用について n=47



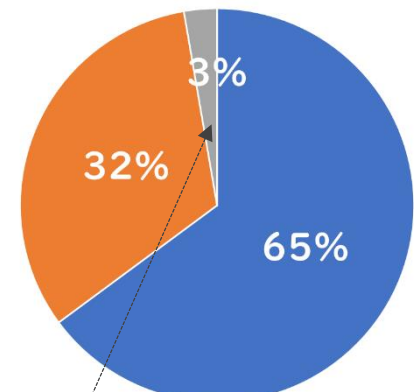
- 利用した
- 利用しなかった

トークでの相談の待ち時間 n=37



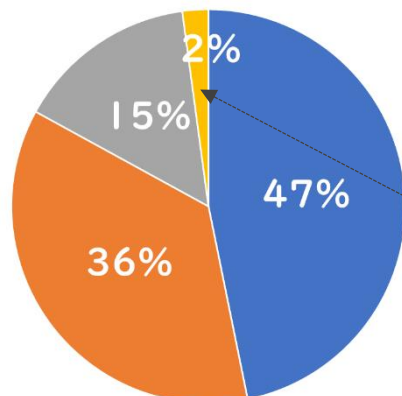
- 長く感じなかった
- あまり長く感じなかった
- 少し長く感じた
- 長く感じた

相談してどうだったか n=37



- よかった
- あまりよくなかった
- どちらかといえばよかった
- よくなかった

「みんなに相談」について n=47



- よかった
- あまりよくなかった
- どちらかといえばよかった
- よくなかった

・使い方がよくわからないから
 ・いろいろな人の意見を聞きたいので「みんなに相談」だけを利用したから
 ・悩みがないから

・回答が来ないから
 ・編集される場合があるから
 ・回答が全部似ていて面白くないから